

核燃・だまっちゃおられん津軽の会  
第25回市民講座(記念講演・総会)

<記念講演>

## 下北はいかにして原子力半島になったか

講師: 隈元信一氏(1953年鹿児島県生まれ。元朝日新聞論説委員・編集委員・むつ支局長)

下北半島には、六ヶ所再処理工場を始めとする原子力関連施設が集中的に立地するだけでなく、福島第一原発事故を経た今日でも、下北地域は、我が国の原発推進勢力の急先鋒となっています。いかにして下北=原子力半島が生まれたのか。長年に渡って下北地域を取材されてきた隈元・元記者が、その歴史をあらためて振り返ります。



↑ 初航海で放射線漏れ事故を起こし、  
1974年に廃止された原子力船むつ(47NEWS)



敷地内で活断層の存在が →  
指摘され、紛糾の最中の  
東通原発(SankeiBiz)

← 1993年の着工以来20年以上  
の歳月と2兆円以上の建設  
費が費やされた六ヶ所再処  
理工場(朝日新聞 DIGITAL)



日時 2017年6月17日(土)14時~17時(予定)  
会場 弘前市民会館1階大会議室(弘前市白銀町1-6/TEL0172-32-3374)  
参加費 無料

~当日のスケジュール~

13:30 開場  
14:00 記念講演「下北はいかにして原子力半島になったか」(隈元信一氏)  
15:30 核燃・だまっちゃおられん津軽の会 第10回総会  
17:00 終了(予定)  
17:30 懇親会(居酒屋つがる/土手町・スマイルホテル弘前1階)

主催 核燃・だまっちゃおられん津軽の会

お問い合わせ 核燃・だまっちゃおられん津軽の会事務局

(宮永崇史 TEL 0172-39-3551/E-mail: takaf@hirosaki-u.ac.jp)